

ながおかの ごみ改革

Vol.1

平成14年7月



ほくの名前はハギー
ごみ収集車といっしょに
回っています
ヨロシクね!

ここに
いるよ!



こんなにたくさん
のごみを処理して
いるんだ!!



発行にあたって

大量生産・大量消費の「使い捨て型社会」の生活様式が定着し、家庭から出されるごみもそれまでの生ごみ中心であった頃とは異なり、さまざまな種類のごみが大量に排出されるようになりました。そのため、ごみの焼却に伴うダイオキシン問題や温暖化の原因となる二酸化炭素の大量排出、あるいは廃棄物の不法投棄といった環境問題がクローズアップされています。

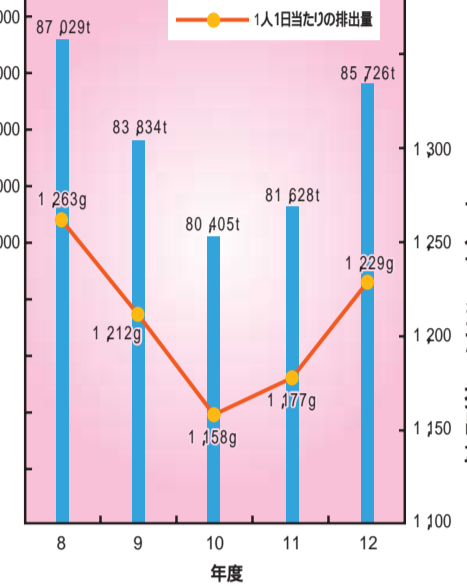
そこで、昨年、長岡市では「燃やすごみ」「燃やさないごみ」を減らし、資源として再利用するための指針である「長岡市ごみ処理基本計画」を改定し、新たな取り組みを行うことにしました。

この情報誌では、長岡市のごみの現状やごみの減量とリサイクルを進めるための取り組み内容を紹介していきます。

発行：〒940-0015 長岡市寿3-6-1
長岡市環境部環境業務課
TEL 0258-24-2837
FAX 0258-24-6553
e-mail kankogy@city.nagaoka.niigata.jp

ごみ減量の3Rとは、Reduce(ごみを出さない)・Reuse(繰り返し使う)・Recycle(もう一度資源にする)

ごみの量の推移



平成12年度の市内から出されたごみの量は、約8万5千トン。市民一人当たり換算すると、毎日1・2キログラムのごみを排出しています。

三人家族が一日に出す
ごみの量は、なんと
3・6キログラム!



3人家族の
1日のゴミは
平均3.6kg

長岡市のごみの現状

現在、燃やすごみ 燃やさないごみ 粗大ごみ
びん・缶・ペットボトル 新聞 雑誌・チラシ
段ボールの7つを分別収集しています。

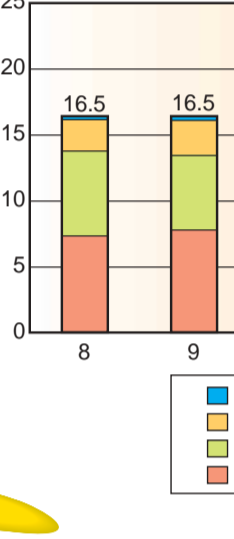
市民一人当たりの年間ごみ処理経費は、約1万円!

平成12年度のごみ処理経費は約19億9千万円。市民一人当たり換算すると約1万円かかっています。平成8年度からの5年間で1700円も増えています。

ごみ処理経費



埋立地の空き容量



大変、
あと8年で
埋立地が満杯!

<ごみの出し方のお願い>

夏は、スイカやメロンの皮など、水分を多く含んだ生ごみが増えます。水の切れていない生ごみは、ごみステーションのにおいのもとになります。出すときは、絞ったり新聞紙の上で乾かすなど、水分を十分取ってくださいようお願いいたします。

ごみ埋立地の空き容量

このままだと埋立地が満杯に!!

ごみ処理経費

今、私たちがごみの減量化に取り組みなければ、二つの最終処分場は、平成22年頃には満杯になってしまいます。

ごみ処理経費

柿町と三島町鳥越にある最終処分場に埋め立てるごみは、燃やさないごみ粗大ごみのほか、燃やすごみを焼却した後に残る灰などがあります。その量は、年間2万トンを超えます。

ごみ減量の3Rとは、Reduce(ごみを出さない)・Reuse(繰り返し使う)・Recycle(もう一度資源にする)

生ごみの減量には、生ごみ処理機が有効!

電動生ごみ処理機の二日の処理能力は約1〜3キログラム。主に、貝殻や大きな骨などを除く生ごみを約8分の1〜5分の1に減らします。たい肥化容器は、生ごみを地中のバクテリアの働きで発酵分解し、減量します。どちらを活用しても、捨てしまえばごみになるものが、良質なたい肥に生まれ変わります。



ながおか市民センター（大手通2丁目）3階に、実物を展示中です。お立ち寄りいただき、どうぞ手に触れてみてください。

電動生ごみ処理機

市指定取扱店で電動生ごみ処理機を購入されたご家庭に、購入金額の半額（上限3万円）を補助しています。

たい肥化容器

市があつせんするたい肥化容器を購入されたご家庭に、購入金額の半額（上限3千円）を補助しています。

生ごみ処理機と集団回収のススメ

市では、ごみの減量とリサイクルを進めるために、「混ぜればごみ、分ければ資源」を合言葉に、生ごみ処理機を購入されたご家庭と、集団回収を行った団体をサポートしています。環境業務課（2412837）へお問い合わせは、環境業務課（2412837）へ



生ごみ処理機で
ごみの量が
減らせるよ!

資源リサイクルのイメージ図



資源リサイクルのイメージ図

毎月行われている古紙類の分別収集

資源リサイクルのイメージ図

子ども会や町内会の集団回収活動により、平成13年度は約3千400トンの資源が回収され、リサイクルされました。

エコリーシクラブの紹介

乾燥式の電動生ごみ処理機で処理した生ごみを、ボランティアスタッフが回収し、家畜の飼料材として活用します。安全な飼料で育てたおいしい肉・卵が、年2回ご家庭に届けられます。

問い合わせ先 NPO法人「地域循環ネットワーク」 TEL 34-4450

長岡市は、平成16年度家庭ごみ有料化導入に向け検討しています

家庭ごみ有料化制度を導入している県内市町村の割合は、48%（平成14年1月現在）です。県内20市中、栃尾市、十日町市、白根市、新津市、豊栄市、新発田市、両津市の7市では、すでに有料化をしています。

長岡市でも、公募による市民委員5名と事業者・有識者のみなさんの合計15名で構成する「長岡市廃棄物減量等推進審議会」で、家庭ごみの有料化の方法や仕組みなどについて検討を進めています。

有料化の効果

ごみ減量とリサイクルが推進されます

リサイクル資源の分別が進み、燃やしたり、埋めたりするごみを減らすこととなります。

ごみ処理費用の負担が公平になります

ごみを多く出す人と、ごみの量を減らしたり、リサイクルに努力している人との不公平感を解消することとなります。

「ごみ」や環境問題に関心が高くなってきます

ごみを出さない生活、環境にやさしい生活スタイルが定着します。



不公平



有料化をしている市町村の主な内容は次のとおりです

有料化されているごみの種類は、主に「燃やすごみ」「燃やさないごみ」「粗大ごみ」です。「びん、缶、ペットボトル」「新聞、雑誌・チラシ、段ボール」などの資源物は、対象外となっています。「燃やすごみ」と「燃やさないごみ」は、市の指定する袋（指定袋）を購入し、それにごみを入れて出す方法が一般的です。指定袋は、大・中・小3種類のものが用意されています。「粗大ごみ」は、電話で受け付けて、家の前まで収集にうかがっているところもあります。町内会や各種団体が実施するクリーン作戦のごみや、道路上や公園内の落ち葉などは、ボランティア袋を無料で配布し、有料化の対象から除いています。高齢者世帯や低所得者世帯などについては、指定袋の無料支給や減免制度などがとられています。

<お知らせ> 9月に「ごみ有料化に関する市民アンケート」を実施します。アンケートは9月号の市政だよりとともに配布します。また、市民のみなさんとの「ごみ有料化に関する意見交換会」を地区ごとに開催します。詳しくは、アンケートに掲載しますので、ぜひ御参加ください。